

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム No.3 木とともにだちになろう ①身近な樹木調べ

学校名 高知市立浦戸小学校  
学年・児童・生徒数 1～3年生 22名、4～6年生 24名  
実施場所 浦戸小学校 体育館  
目標 自然観察のしかたの基本を通して、科学的な思考力・表現力を育む。  
関連教科 1・2年生 生活科 3～6年生 理科  
講師 小林 絵里子（日本ネイチャージャーナルクラブ主宰）  
持ち物・準備物 学校：観察ボード、コピー用紙1枚、鉛筆、色鉛筆  
講師：ブルーシート、樹木の枝、バケツ  
※雨天が予想されたので観察用の葉っぱを準備しました。  
天気が良ければ校庭で採取する予定でした。

実施項目 ネイチャージャーナル  
対象プログラム No.3 木とともにだちになろう ①身近な樹木調べ  
所要時間 45分  
実施内容 はじめに：5分程度  
1～3年生 校長先生から：  
「皆さん、植物学者の牧野富太郎先生を知っていますか？  
みなさんも行ったことのある横倉山は牧野先生の観察場所でした。  
みんな、今日は牧野先生になりましょう。」と児童に伝えました。  
講師から：  
最初にこれからの活動で「大切なこと」は、  
・ 良い悪いはない  
・ 人と比べない  
・ 頭で考えたことは全て正解 と児童に伝えました。  
観察するものを採取：10分程度  
雨が降っていなかったため、用意した樹木から好きな葉を1枚採取し、  
その葉と似た葉を校庭の樹木から1枚採取しました。



採取した葉を観察：20分程度

## 1. イントロダクション：観察の練習



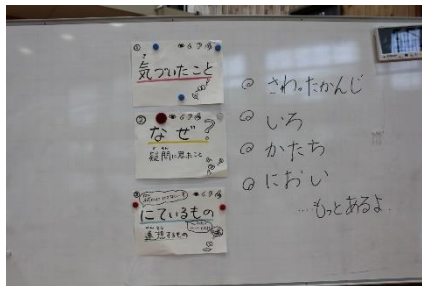
お隣の人と気づいたことを言い合いました。葉っぱを触りながら、手触り、におい、色……

次に葉っぱを見て、なんでだろう、不思議に思ったことを言い合いました。

なんで線があるのかな……

次に葉っぱに似ているものを言い合いました。

におい、触ったかんじ……



## 2. アクティビティ：紙に記録する

かんたんな絵、ことば、数字を使って記録する。

「なんでかな?」と思ったことがあれば、それを記録する。



用意したコピー用紙に自由に書いていきます。

葉っぱのギザギザ、線(葉脈)、色をつける、長さを測る。

さっきお友だちと言い合った、気づいたことも書きます。

書き始めるとさっきまでにぎやかだった体育館はシーンとなりました。

子どもたちの集中力に驚かされます。



※今回は1枚の葉っぱを記録しましたが、似たような2つの種や物(2種類の木、キノコ、花など)を並べて観察することもできます。低学年は出来る範囲で行い、大人がサポートに入ります。

---

実施内容  
(4～6年生)  
10:30～11:30

はじめに：5分程度

校長先生から：

「牧野植物園に行ったことある？ 横倉山は行ったことあるよね。  
牧野先生は高知県出身の植物学者で、横倉山は観察場所でした。  
たくさんの植物を発見しました。  
今日は牧野先生になって自然に触れながら観察しましょう。」  
と児童に伝えました。

講師から：

最初にこれからの活動で「大切なこと」は、

- ・ 良い悪いはない
- ・ 人と比べない
- ・ 頭で考えたことは全て正解 と児童に伝えました。

観察するものを採取：5分程度

雨が降っていたので、用意した樹木から好きな葉を1枚採取しました。



採取した葉を観察：20分程度

#### 1. イントロダクション：観察の練習



気づいたこと独り言で口に出す、  
お隣同志で言い合う。

葉っぱをさわる、見る、におう、

どんな模様？ 疑問、不思議に思ったこと  
どうして葉はギザギザしてる？

答えがわからなくてもいいから、どんどん  
口に出していきました。



## 2. アクティビティ：紙に記録する

絵、言葉、数字を使って記録する。

葉っぱをなぞる、線を入れる、特徴を書く、長さを測る。

とにかく白い紙に記録しました。



講師がささっと、書き方を見せました。  
気づいたこと、なんでかなと思ったこと、  
何でも書いていきます。

高学年の児童も観察を始めるとぐっと  
集中しました。

葉っぱの脈を数える児童、ギザギザの数を  
数える児童、葉の表と裏を比べたり・・・  
書きながら気づいたことも書いていきま  
す。そして新しい発見を増やします。



## 3. 観察したこと、感想を共有する



「観察していくうちにどんどん疑問が  
わいてきた。」

「あまり観察に興味はなかったけど、書い  
ていくうちに疑問がわいてきた」

「葉っぱを食べてみた。苦いけど食べられ  
ないことはない」

学習を終えて

校長先生にお聞きしました。

観察するときに植物全体を見ることが多いが、それは児童には難しい。

今回、葉っぱ1枚を観察することで、特徴を記録することができ、観察の方法、  
コツを知ることができました。

今日の応用として、疑問に思ったことを図鑑やインターネットを使って調べ  
る、友だち同士で話し合うなどの展開ができます。

ネイチャージャーナルは年齢に応じて、またいろんな教科で使える手法です。  
児童が発見したことを認める、評価する、おもしろいねと言ってあげると児童  
は頑張るし伸びると思います。